

令和2年度 第1回 清水地域における医療体制検討協議会 議事概要

- 1 日 時 令和2年11月18日(水) 午後7時15分から8時20分まで
- 2 場 所 清水健康支援センター 3階 視聴覚室
- 3 出席団体 静岡市立清水病院、清水厚生病院、桜ヶ丘病院、静岡市立静岡病院、
静岡市清水医師会、静岡県、静岡市

4 議事概要

○清水地域における2次救急医療について

(市立清水病院)

- ・内科救急の輪番回数を増やす方向で考えているが、そのためには医師だけでなくスタッフの体制を整える必要があるため、回数は徐々に増やしていく方針で検討している。
- ・今後の病院の方向性として、地域の医療ニーズや自病院に求められる役割を踏まえ、医療機能を検討していく。

(清水厚生病院)

- ・来年度以降、外科医師の増員が実現すれば、現在の回数より数回程度増やす意向はある。
- ・静岡地域と清水地域の医師を比較すると、静岡地域の医師数が圧倒的に多いため、可能であれば、静岡地域から医師派遣いただけるとありがたい。そういうことを議論する場があるとよい。
- ・将来に向けて、現在の病院規模を維持していきたい。地域医療へさらに貢献していくためにも若手医師の確保を目指しているが、実際はなかなか難しい。

(桜ヶ丘病院)

- ・内科救急について、今後も現在の月20日程度を維持していきたいが、そのためには常勤医師の確保が前提である。
- ・現在自病院が多く提供している医療は、今後の更なる高齢化の進行により一層重要となってくることから、今後も現在と同様に150床程度の医療体制を維持していきたい。そのためには医師の確保が必要である。

(市立静岡病院)

- ・内科救急について、桜ヶ丘病院が20日程度を継続し、市立清水病院が輪番回数を増やすことは、静岡地域の病院にとってもよいことである。
- ・高度急性期を脱した患者の転院など、静岡地域と清水地域の病院が連携してやっていくとよい。

(清水医師会)

- ・ 輪番制に参加する病院が今以上に増えるとよい。
- ・ 今後交通弱者が増えることが見込まれるので、公共交通機関の充実が必要ではないか。

(静岡県)

- ・ 地域医療構想の実現に向け、救急に限らず、どのような連携や役割分担をしていくのかが大事である。県も協力していく。